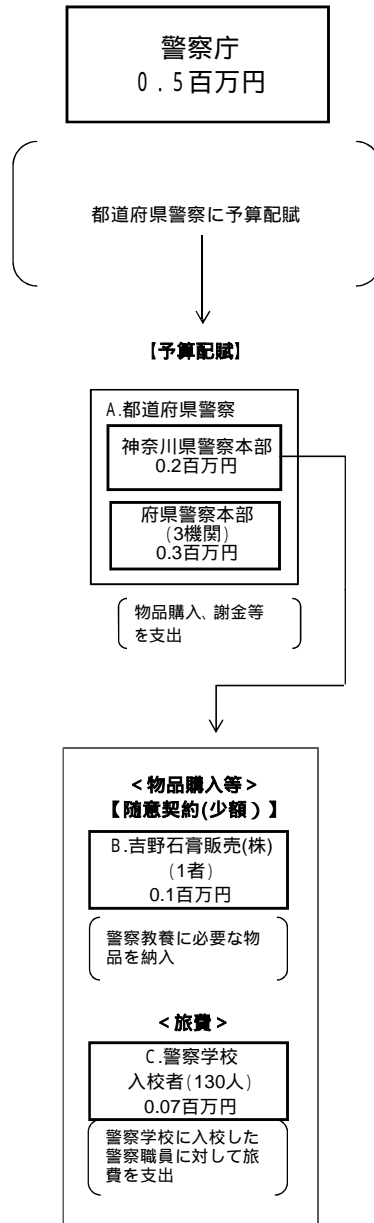


平成24年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	被災地の安全確保に係る人的基盤の充実強化		担当部局	長官官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度		担当課室	人事課		人事課長 松本 光弘		
会計区分	一般会計 東日本大震災復興特別会計		施策名	複数施策(1～7)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法施行令を改正		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により壊滅的打撃を受けた岩手県、宮城県及び福島県の復旧・復興過程における治安事象の変化、増大に対処するため、当該三県警察の人的基盤の充実強化を図り、パトロール活動や交通整理活動等を強化することにより、良好な治安を確保することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記事業の目的を達成するため、岩手県、宮城県及び福島県の三県警察において、「被災地の安全・安心を確立するためのパトロール機能の強化」、「被災地の交通の安全と円滑の確保」及び「震災に乗じた犯罪の取締り強化」に従事するための地方警察官750人を増員する。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	0	136	-	
		補正予算	-	-	17	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	17	136	-	
	執行額	-	-	0.5				
執行率(%)	-	-	3%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 良好な治安の確保 交通の円滑の確保		成果実績	人	-	-	750	-
	(成果指標) 地方警察官の増員数		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	同上		活動実績 (当初見込み)	同上	-	-	同上 (-) (-)	
単位当たりコスト	544千円 / 年		算出根拠	年間執行額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	謝金	1		事業の終了				
	旅費	82						
	物品購入等	53						
計	136	-						

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、被災地や避難先において、被災者の治安に対する不安の解消や犯罪の抑止・検挙に向けた取組であり、基本方針の内容と合致するものである。 該当する三県からは、警察官の増員を要望として受けていることから、優先度の高い事業であると言える。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	被災地の復旧・復興過程に必要な警察力は、可能な限り措置すべきであるが、国及び被災地の厳しい財政事情を考慮した上で、三県警察における業務の合理化及び人員の再配置を前提とし、必要最小限の増員数としている。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。		
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	三県警察の増員が措置された後も、各都道府県警察からの部隊派遣による災害警察活動は規模を縮小して継続するが、両者は従事する任務を明確に分け、かつ、計画的に実施するものである。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 類似事業名とその所管部局・府省名		
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁において執行している経費はもとより、警察庁から都道府県警察学校に配分している経費についても警察庁に支出状況を報告させることにより、支出先・使途については把握している。</p> <p>2 見直しの余地 三県警察の増員は、他の都道府県警察からの特別出向によりまかなうこととし、特別出向により生じる欠員の補充のための新規採用分として、第三次補正予算において警察官の新規採用にかかる国庫負担分の経費を要求したところ。しかし、第三次補正予算の成立の遅れ等により、特別出向は平成24年2月1日から開始となったため、年度の残りの期間が2ヶ月と僅少となり、特別出向者の欠員補充のための採用を平成24年度における新規採用と併せて行う府県が多数を占めたことから、当該補正予算にかかる経費の執行が低調になった。 今後、年度途中において地方警察官の増員を行う場合には、これらの点を精査し、適正な予算要求及び執行を行う必要がある。</p>			
	予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>			
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	現状通り	特になし(事業の終了)		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)				
特になし				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	復興6	

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神奈川県警察本部	予算配賦	0.2		
2	大阪府警察本部	予算配賦	0.2		
3	埼玉県警察本部	予算配賦	0.1		
4	沖縄県警察本部	予算配賦	0.04		
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	吉野石膏販売(株)	足跡用石膏の購入	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警察学校等入校者	入校旅費(延べ130人)	0.07		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					